

美瑛川さと川づくり

— 未来を担う子供達に誇れる「ふるさと」をつくろう —

特定非営利活動法人 グラウンドワーク西神楽

北海道の中央部に位置する十勝岳連峰を水源とする美瑛川は、美瑛町から旭川市にかけて辺別川などの支流を集めながら流れる一級河川です。その美瑛川・辺別川が地域の中心を流れる旭川市西神楽地区は、周辺に観光地として知られる青い池や美瑛の美しい丘陵地形など、北海道の雄大な自然に囲まれた地域です。

平成5年から地域の若手農業者が行っているまちづくり活動の中で、阪神大震災の被災児童23名の疎開を受入れたところ、都会から来た子供達が見違えるように元気になって帰郷したことから自然や田舎の偉大さに気付きました。

その後、農業を中心とした地域の生活と関わりの深い美瑛川・辺別川の川づくりを住民主体で行うため、「特定非営利活動法人 グラウンドワーク西神楽」を設立、美瑛川さと川づくり事業を発

足し、ビオトープやフットパス整備、環境学習、シンポジウム等を実施し、今年で16年目となります。

「まちづくりボランティアの目的は地域の課題を解決すること」と考え、課題を整理し、受け皿となる7つの専門委員会を組織しました。その道に詳しい委員がリーダーとなり、河川を中心とした歴史の継承や、水防等の自主防災組織設立に向けた活動、高齢化が進む農村地域において高齢者が安心して暮らせる地域づくりを意欲的に実践しており、10名程度で始めた活動は、現在100名を超え、着実に地域に根ざしています。

これまでの活動や、年間来場者が4万人を超える手づくりパークゴルフ場の整備等により、美瑛川・辺別川は地域住民の大切な交流の場となっています。



自然観察会を年間約8回実施し、今年で16年目



冬期間に実施している小動物の足跡調査



東日本大震災の被災児童がホームステイ



自然散策路にて、地域住民による環境学習



利用者が年間4万人を超えるパークゴルフ場

- ◆所在地
北海道旭川市西神楽地内
- ◆活動内容
河川周辺の生態系調査・環境学習（年約8回）、手づくりパークゴルフ場の運営 など
- ◆活動主体及び連絡先
特定非営利活動法人 グラウンドワーク西神楽（0166-75-5305）
※功労者名：岩隈 利輝（日本工業大学准教授）
千賀 裕太郎（東京農工大学大学院教授）
- ◆対象となる社会資本
一級河川美瑛（びえい）川、辺別（べべつ）川
※管理者：国土交通省旭川河川事務所（計画課：0166-48-2131）

